有人ドローンについて

市長 ドローン活用による地域課題の解決が必要。

日向栄司 議員

子育て世帯等移住促進事業補助金制度について

議員 制度の内容は。

市長 18歳以下の子供を扶養する世帯や夫婦双方が40歳未満の世帯を対象に地域の活性化と人口増加を図り、移住定住を促進するための補助制度。移住する家族の引越費用15万円を上限として助成している。

議員 他市では仕事や子育てを両立できる環境整備など様々な制度がある。地域振興部と福祉保健部の両部署で話し合い、本市にとってよりよい政策ができればいいと思う。

南有馬クリーンセンターについて

議員 解体跡地のその後の計画は。

環境水道部長 有効的な財源を考慮しながら検討しているところ。

議員 2030年頃には可燃ごみ全体の7%が紙おむつ等で占めると調査が出ている。紙おむつだけを収集して機械で乾燥させ再生エネルギーとして活用する方法があるが、環境に配慮した政策は考えられているのか。

環境水道部長 技術的な課題やコストの問題等あり、広範囲に展開するには時間がかかる。

議員 予算等がかなって実現できるようであれば、前向きに検討してほしい。

デジタルトランスフォーメーションについて

議員 市長として本市に必要なデジタルトランスフォーメーションは。また、行いたい事業は。

市長 ドローン活用による地域課題の解決が第一。県や民間事業などと連携して買い物弱者への配送サービス、オンライン診療など社会実装ができないか考えている。

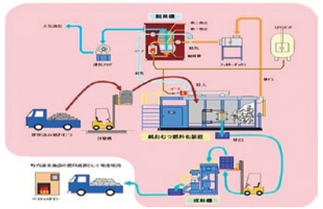
議員 配送ドローンについて伺う。

総務部長 レベル4飛行、住宅地の上も飛行できると指定されたので、その区域を活用して配送サービス等できないか県と協議を行っている。

議員 事業を行うには補助金等のこともあるので早めの申請を行ってほしい。

総務部長 市に合った事業で補助金の対象事業となる分には積極的に取り組んでいきたい。

質問の様子を動画で見よう



紙おむつの燃料化

水道料金の改定について

市長 令和5年度に水道料金等審議会を開催し、この答申を踏まえた上での料金改定となっている。

井上修一 議員

水道料金の改定について

議員 水道料金の改定の理由は。

環境水道部長 人口減少や、節水型機器の普及による料金収入の減少と、昨今の資材高騰により施設の老朽化に伴う維持管理費用が増え、経営に大きな影響を及ぼすため料金改定は避けて通れないものと考えている。

議員 これは全国的な問題になっているが、他の市はどうなのか。

環境水道部長 近隣では、雲仙市が令和5年10月分から、島原市も本市と同じく令和7年4月使用分から料金改定を予定している。

議員 水道管の老朽化による漏水はどれくらいあるのか。また中長期的な経費削減を目的に、AIを導入して水道管の劣化診断を行い、効率的に漏水対策を試みている自治体があるが、本市ではそのような考えはないか。

環境水道部長 令和5年度の漏水件数は501件。AIの導入については、今後検討する。

給食費について

議員 給食費の無償化についての考えは。

市長 市単独での実施の予定は、現在のところないが、長崎県市長会、九州市長会において、学校給食費の無償化について、自治体の規模やまた財政力による地域間格差が生じないよう国の公費負担（無償化）として恒久的な財政措置を早期に講じること等の申入れを行っている。

議員 現在、本市が行っている物価高騰分2分の1無償化を増額することはできないか。

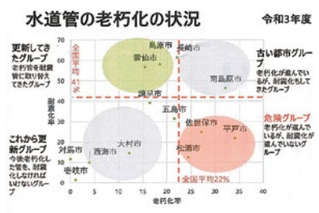
教育次長 今後、市長部局と相談をしながら、検討はしていきたい。

子宮頸がんワクチンについて

議員 子宮頸がんワクチンを自費で接種する場合、かなり高額になるので、キャッチアップ接種の推奨に関して料金の周知も必要と思うが。

福祉保健部長 1回目をまず9月に接種していただかないと、3回を無料で終わらせることができないので、改めてPRをしていきたいと考えている。（後日、HPで周知した）

質問の様子を動画で見よう



水道管の老朽化の状況

ヤングケアラー対策は

市長 改正法の理念に沿って状況把握のためアンケートを定期的に実施予定。

末続浩二郎 議員

教育の充実について

議員 ヤングケアラー対策の具体的な取組は。

福祉保健部長 アンケートによる実態把握、支援の必要性、緊急性に沿った支援を実施。こども家庭センターを中心に関係機関と連携。

議員 長崎県ケアラー支援条例による学校の取組は。

教育長 ヤングケアラー実態調査を毎年県が実施。学校独自アンケートによる実態把握、児童生徒からのサインを見逃さない、きめ細やかな観察と民生・児童委員など地域の方々と情報共有し、早期発見に努めている。

議員 特別教室の熱中症対策、トイレの改善は。

教育次長 音楽室、理科室、家庭科室はエアコン設置。トイレは計画的に洋式化を図っている。

議員 警戒アラートは頻繁に発令、空調整備を。

教育次長 気温は上昇している。市長部局とともに検討したい。

議員 ヤングケアラー対策など先生の業務も増加、学校支援員など充実を図ってほしい。

防災に強いまちづくりについて

議員 防災意識の向上対策、住宅への感震ブレーカーの補助は。

総務部長 市の防災講座への応募件数が増加。自主防災組織での防災グッズの整備、避難訓練を実施中。通電火災等の啓発も推進している。

議員 避難所の熱中症対策のための空調整備、災害対策アプリの活用は。

総務部長 冷房設備の無い体育館は大型扇風機・スポットクーラーで対応予定。防災アプリの導入は検討中。緊急防災減災事業債は時限立法、今後の検討課題。

議員 個別避難計画は。

福祉保健部長 5年度から策定中、今年度末には、ハザード区域内の対象者分を完了したい。

質問の様子を動画で見よう

自転車歩行者専用道路について

議員 交差点の安全対策は。案内板の設置は。

建設部長 侵入防止柵、カラー舗装、交差点強調枠等の対策を実施。

地域振興部長 案内板は供用開始区間から順次設置中。

市道との交差点

その他の項目

○勤務労働条件について

議員 南島原市の農業の担い手を確保する対策はどうなっているのか。

市長 国の支援制度の活用のほか、新規就農者に対する機械施設等の導入支援及び親元就農者に対する資金の交付など、市独自の支援を行っている。

議員 本市の新規就農者の募集対策は。

農林水産部長 市のホームページや就農専門サイトなど、インターネットを活用した情報発信のほか、就農相談会への参加などを行っている。

人口減少対策を早急に進めるべきでは

市長 今後具体的な施策を進めていきたい。

永池充宏 議員

農業振興について

議員 果樹に特化した未来農業フロンティア事業を行っていると思うが、ほかの品目に広げる考えはないのか。

農林水産部長 今後、関係機関等と協議を行いながら検討していきたい。

有害鳥獣対策について

議員 イノシシやアナグマなどの有害鳥獣対策は。

農林水産部長 令和5年度は、市内12地区でワイヤーメッシュ柵を1万1，180m、電気柵を5，230m整備した。

議員 捕獲の状況と報奨金の状況は。

農林水産部長 令和5年度イノシシを2，492頭、アナグマを143頭捕獲している。報奨金はイノシシが成獣で1万7千円、幼獣で1万1千円、アナグマは1万円を支出している。

議員 「箱わな」での捕獲が難しい大型のイノシシの対応は。

農林水産部長 猟友会と協議し、今年度より「くくりわな」で対応したい。

質問の様子を動画で見よう

人口減少対策について

議員 人口減少対策は喫緊の課題と考えるが移住者の実績は。

地域振興部長 令和4年度105名、5年度は84名となっている。

議員 空き家を活用した移住対策はある程度効果を上げている。人口減少対策として市内に残る人に定住支援金制度を創設してはどうか。

市長 本市に若者が残り地域経済を支えていくため今後具体的な施策を進めていきたい。

設置されたワイヤーメッシュ柵